

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特許公報(B2)

(11) 特許番号

特許第4396446号  
(P4396446)

(45) 発行日 平成22年1月13日(2010.1.13)

(24) 登録日 平成21年10月30日(2009.10.30)

(51) Int.Cl. F I  
 HO4N 7/173 (2006.01) HO4N 7/173 630  
 HO4N 5/445 (2006.01) HO4N 5/445 Z

請求項の数 6 (全 15 頁)

(21) 出願番号	特願2004-241275 (P2004-241275)	(73) 特許権者	000002185
(22) 出願日	平成16年8月20日(2004.8.20)		ソニー株式会社
(65) 公開番号	特開2006-60600 (P2006-60600A)		東京都港区港南1丁目7番1号
(43) 公開日	平成18年3月2日(2006.3.2)	(74) 代理人	100082131
審査請求日	平成17年9月5日(2005.9.5)		弁理士 稲本 義雄
		(72) 発明者	青木 俊介
			東京都品川区北品川6丁目7番35号 ソニー株式会社内
		(72) 発明者	山本 倫之
			東京都品川区北品川6丁目7番35号 ソニー株式会社内
		(72) 発明者	住吉 一仁
			東京都品川区北品川6丁目7番35号 ソニー株式会社内

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 情報処理装置および方法、並びにプログラム

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項1】

番組の番組情報として、前記番組の視聴率、前記番組の番組紹介情報、番組紹介サイトに寄せられた前記番組の感想、番組オフィシャルサイトに寄せられた前記番組のコメント、および所定の端末における前記番組の利用履歴を取得する取得手段と、

前記番組情報を複数の要素に分類し、第1の要素である前記番組の番組紹介情報に含まれる番組説明および前記番組の感想から抽出される語句に対応する数値を、前記第1の要素の数値とし、第2の要素である前記番組の番組紹介情報に含まれるキーワードに対応する数値を、前記第2の要素の数値とし、第3の要素である前記番組の番組紹介情報に含まれる放送時間、放送開始時刻、または放送終了時刻に対応する数値を、前記第3の要素の数値とし、第4の要素である前記番組の感想の数および前記番組のコメントの数に対応する数値を、前記第4の要素の数値とし、第5の要素である前記番組の番組紹介情報の再利用の回数に対応する数値を、前記第5の要素の数値とし、第6の要素である前記番組の視聴率と前記番組の利用履歴に対応する数値を、前記第6の要素の数値とし、第7の要素である前記番組の番組紹介情報に含まれる出演者の著名度に対応する数値を、前記第7の要素の数値として、分類した要素毎の数値化を行う数値化手段と、

前記複数の要素のうち、対応する要素の数値を用いて、前記番組を評価する複数の評価度をそれぞれ算出する評価手段と、

前記評価手段により算出された前記複数の評価度をまとめて図示化する図示化手段と、

前記図示化手段により図示化された前記複数の評価度を提示する提示手段と

10

20

を備える情報処理装置。

【請求項 2】

前記評価手段は、前記番組を評価する複数の評価度として、話題度、放送時刻に関する視聴容易度、教育上の有効度、マニアック度、大人向け度、およびキャスティングの著名度のうち少なくとも2つを算出する

請求項 1 に記載の情報処理装置。

【請求項 3】

前記評価手段は、前記話題度の算出に、前記第 1 の要素の数値、前記第 2 の要素の数値、前記第 4 の要素の数値、前記第 5 の要素の数値、および前記第 6 の要素の数値を用い、前記視聴容易度の算出に、前記第 3 の要素の数値を用い、前記有効度の算出に、前記第 1 の要素の数値および前記第 2 の要素の数値を用い、前記マニアック度の算出に、前記第 1 の要素の数値を用い、前記大人向け度の算出に、前記第 1 の要素の数値および前記第 3 の数値を用い、前記著名度の算出に、第 6 の要素の数値を用いる

請求項 2 に記載の情報処理装置。

【請求項 4】

前記番組は、シリーズで放送される番組であり、

前記数値化手段は、シリーズで放送される番組の放送回毎の前記番組情報を複数の要素にそれぞれ分類し、分類した要素毎の数値化をそれぞれ行い、

前記評価手段は、前記複数の要素のうち、対応する要素の数値を用いて、前記番組を評価する評価度を前記放送回毎にそれぞれ算出し、

前記図式化手段は、前記評価手段により算出された放送回毎の前記評価度を、時系列に配置して図式化する

請求項 1 に記載の通信装置。

【請求項 5】

情報処理装置が、

番組の番組情報として、前記番組の視聴率、前記番組の番組紹介情報、番組紹介サイトに寄せられた前記番組の感想、および番組オフィシャルサイトに寄せられた前記番組のコメントを取得し、

前記番組情報を複数の要素に分類し、第 1 の要素である前記番組の番組紹介情報に含まれる番組説明および前記番組の感想から抽出される語句に対応する数値を、前記第 1 の要素の数値とし、第 2 の要素である前記番組の番組紹介情報に含まれるキーワードに対応する数値を、前記第 2 の要素の数値とし、第 3 の要素である前記番組の番組紹介情報に含まれる放送時間、放送開始時刻、または放送終了時刻に対応する数値を、前記第 3 の要素の数値とし、第 4 の要素である前記番組の感想の数および前記番組のコメントの数を、前記第 4 の要素の数値とし、第 5 の要素である前記番組の番組紹介情報の再利用の回数を、前記第 5 の要素の数値とし、第 6 の要素である前記番組の視聴率と前記番組の利用履歴に対応する数値を、前記第 6 の要素の数値とし、第 7 の要素である前記番組の番組紹介情報に含まれる出演者の著名度に対応する数値を、前記第 7 の要素の数値として、分類した要素毎の数値化を行い、

前記複数の要素のうち、それぞれ対応する要素の数値を用いて、前記番組を評価する複数の評価度をそれぞれ算出し、

前記評価手段により算出された前記複数の評価度をまとめて図示化し、

図示化された前記複数の評価度を提示するステップ

を含む情報処理方法。

【請求項 6】

番組の番組情報として、前記番組の視聴率、前記番組の番組紹介情報、番組紹介サイトに寄せられた前記番組の感想、および番組オフィシャルサイトに寄せられた前記番組のコメントを取得し、

前記番組情報を複数の要素に分類し、第 1 の要素である前記番組の番組紹介情報に含まれる番組説明および前記番組の感想から抽出される語句に対応する数値を、前記第 1 の要

10

20

30

40

50

素の数値とし、第2の要素である前記番組の番組紹介情報に含まれるキーワードに対応する数値を、前記第2の要素の数値とし、第3の要素である前記番組の番組紹介情報に含まれる放送時間、放送開始時刻、または放送終了時刻に対応する数値を、前記第3の要素の数値とし、第4の要素である記番組の感想の数および前記番組のコメントの数を、前記第4の要素の数値とし、第5の要素である前記番組の番組紹介情報の再利用の回数を、前記第5の要素の数値とし、第6の要素である前記番組の視聴率と前記番組の利用履歴に対応する数値を、前記第6の要素の数値とし、第7の要素である前記番組の番組紹介情報に含まれる出演者の著名度に対応する数値を、前記第7の要素の数値として、分類した要素毎の数値化を行い、

前記複数の要素のうち、それぞれ対応する要素の数値を用いて、前記番組を評価する複数の評価度をそれぞれ算出し、

前記評価手段により算出された前記複数の評価度をまとめて図示化し、

図示化された前記複数の評価度を提示するステップ

を含む処理をコンピュータに行わせるためのプログラム。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、情報処理装置および方法、並びにプログラムに関し、ユーザの番組選択に最適な情報を提供することができるようにした情報処理装置および方法、並びにプログラムに関するものである。

【背景技術】

【0002】

地上デジタル放送の開始や、ハードディスク録画の高機能化等に伴って、テレビジョン放送番組を視聴できる機会が大幅に増加している。その結果ユーザは、いろいろな番組を視聴できるようになったが一方で、膨大な視聴可能番組から視聴したい番組を選択する必要がある。

【0003】

そこで、視聴率（特許文献1）や、インターネット上の視聴者などから発信される番組に対する記述から視聴者の番組への関心度（特許文献2）を、ユーザの番組選択の判断材料として提供する方法も提案されている。

【0004】

【特許文献1】特開平09-261609号公報

【特許文献2】特開2002-279026号公報

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【0005】

しかしながら、従来においては、視聴率や関心度などの判断材料は、それぞれ個別に提供されるので、複数の判断材料から、それらを総合的に利用して、番組選択を行うことは容易ではなかった。

【0006】

本発明ではこのような状況に鑑みてなされたものであり、複数の判断材料を総合的に利用できるように判断材料を提供できるようにするものである。

【課題を解決するための手段】

【0007】

本発明の情報処理装置は、番組の番組情報として、番組の視聴率、番組の番組紹介情報、番組紹介サイトに寄せられた番組の感想、番組オフィシャルサイトに寄せられた番組のコメント、および所定の端末における番組の利用履歴を取得する取得手段と、番組情報を複数の要素に分類し、第1の要素である番組の番組紹介情報に含まれる番組説明および番組の感想から抽出される語句に対応する数値を、第1の要素の数値とし、第2の要素である番組の番組紹介情報に含まれるキーワードに対応する数値を、第2の要素の数値とし、

10

20

30

40

50

第3の要素である番組の番組紹介情報に含まれる放送時間、放送開始時刻、または放送終了時刻に対応する数値を、第3の要素の数値とし、第4の要素である番組の感想の数および番組のコメントの数に対応する数値を、第4の要素の数値とし、第5の要素である番組の番組紹介情報の再利用の回数に対応する数値を、第5の要素の数値とし、第6の要素である番組の視聴率と番組の利用履歴に対応する数値を、第6の要素の数値とし、第7の要素である番組の番組紹介情報に含まれる出演者の著名度に対応する数値を、第7の要素の数値として、分類した要素毎の数値化を行う数値化手段と、複数の要素のうち、対応する要素の数値を用いて、番組を評価する複数の評価度をそれぞれ算出する評価手段と、評価手段により算出された複数の評価度をまとめて図示化する図示化手段と、図示化手段により図示化された複数の評価度を提示する提示手段とを備える。

10

【0008】

評価手段は、番組を評価する複数の評価度として、話題度、放送時刻に関する視聴容易度、教育上の有効度、マニアック度、大人向け度、およびキャスティングの著名度のうち少なくとも2つを算出することができる。

【0010】

評価手段は、話題度の算出に、第1の要素の数値、第2の要素の数値、第4の要素の数値、第5の要素の数値、および第6の要素の数値を用い、視聴容易度の算出に、第3の要素の数値を用い、有効度の算出に、第1の要素の数値および第2の要素の数値を用い、マニアック度の算出に、第1の要素の数値を用い、大人向け度の算出に、第1の要素の数値および第3の数値を用い、著名度の算出に、第6の要素の数値を用いることができる。

20

【0011】

番組は、シリーズで放送される番組であり、数値化手段は、シリーズで放送される番組の放送回毎の番組情報を複数の要素にそれぞれ分類し、分類した要素毎の数値化をそれぞれ行い、評価手段は、複数の要素のうち、対応する要素の数値を用いて、番組を評価する評価度を放送回毎にそれぞれ算出し、図式化手段は、評価手段により算出された放送回毎の評価度を、時系列に配置して図式化することができる。

【0012】

本発明の情報処理方法は、情報処理装置が、番組の番組情報として、番組の視聴率、番組の番組紹介情報、番組紹介サイトに寄せられた番組の感想、および番組オフィシャルサイトに寄せられた番組のコメントを取得し、番組情報を複数の要素に分類し、第1の要素である番組の番組紹介情報に含まれる番組説明および番組の感想から抽出される語句に対応する数値を、第1の要素の数値とし、第2の要素である番組の番組紹介情報に含まれるキーワードに対応する数値を、第2の要素の数値とし、第3の要素である番組の番組紹介情報に含まれる放送時間、放送開始時刻、または放送終了時刻に対応する数値を、第3の要素の数値とし、第4の要素である番組の感想の数および番組のコメントの数を、第4の要素の数値とし、第5の要素である番組の番組紹介情報の再利用の回数を、第5の要素の数値とし、第6の要素である番組の視聴率と番組の利用履歴に対応する数値を、第6の要素の数値とし、第7の要素である番組の番組紹介情報に含まれる出演者の著名度に対応する数値を、第7の要素の数値として、分類した要素毎の数値化を行い、複数の要素のうち、それぞれ対応する要素の数値を用いて、番組を評価する複数の評価度をそれぞれ算出し、評価手段により算出された複数の評価度をまとめて図示化し、図示化された複数の評価度を提示するステップを含む。

30

40

【0013】

本発明のプログラムは、番組の番組情報として、番組の視聴率、番組の番組紹介情報、番組紹介サイトに寄せられた番組の感想、および番組オフィシャルサイトに寄せられた番組のコメントを取得し、番組情報を複数の要素に分類し、第1の要素である番組の番組紹介情報に含まれる番組説明および番組の感想から抽出される語句に対応する数値を、第1の要素の数値とし、第2の要素である番組の番組紹介情報に含まれるキーワードに対応する数値を、第2の要素の数値とし、第3の要素である番組の番組紹介情報に含まれる放送時間、放送開始時刻、または放送終了時刻に対応する数値を、第3の要素の数値とし、第

50

4の要素である番組の感想の数および番組のコメントの数を、第4の要素の数値とし、第5の要素である番組の番組紹介情報の再利用の回数を、第5の要素の数値とし、第6の要素である番組の視聴率と番組の利用履歴に対応する数値を、第6の要素の数値とし、第7の要素である番組の番組紹介情報に含まれる出演者の著名度に対応する数値を、第7の要素の数値として、分類した要素毎の数値化を行い、複数の要素のうち、それぞれ対応する要素の数値を用いて、番組を評価する複数の評価度をそれぞれ算出し、評価手段により算出された複数の評価度をまとめて図示化し、図示化された複数の評価度を提示するステップを含む処理をコンピュータに行わせる。

【0014】

本発明の情報処理装置および方法、並びにプログラムにおいては、番組の番組情報として、番組の視聴率、番組の番組紹介情報、番組紹介サイトに寄せられた番組の感想、および番組オフィシャルサイトに寄せられた番組のコメントが取得され、番組情報が複数の要素に分類され、第1の要素である番組の番組紹介情報に含まれる番組説明および番組の感想から抽出される語句に対応する数値を、第1の要素の数値とし、第2の要素である番組の番組紹介情報に含まれるキーワードに対応する数値を、第2の要素の数値とし、第3の要素である番組の番組紹介情報に含まれる放送時間、放送開始時刻、または放送終了時刻に対応する数値を、第3の要素の数値とし、第4の要素である番組の感想の数および番組のコメントの数を、第4の要素の数値とし、第5の要素である番組の番組紹介情報の再利用の回数を、第5の要素の数値とし、第6の要素である番組の視聴率と番組の利用履歴に対応する数値を、第6の要素の数値とし、第7の要素である番組の番組紹介情報に含まれる出演者の著名度に対応する数値を、第7の要素の数値として、分類した要素毎の数値化が行われる。そして、複数の要素のうち、それぞれ対応する要素の数値を用いて、番組を評価する複数の評価度をそれぞれ算出し、評価手段により算出された複数の評価度がまとめて図示化され、図示化された複数の評価度が提示される。

【発明の効果】

【0015】

本発明によれば、番組選択を容易に行うことができるようにするものである。

【発明を実施するための最良の形態】

【0023】

図1は、本発明を適用した端末5の利用例を示している。

【0024】

サーバ1は、テレビジョン放送される番組の視聴率を集計し、要求に応じて、ネットワーク6を介して端末5に供給する。

【0025】

サーバ2は、テレビジョン放送番組を紹介するためのホームページをネットワーク6上に開設している。このページでは、図2に示すような入力画面を利用する記述ツールが利用されて入力された情報等が紹介される。

【0026】

この入力画面により、放送日、放送曜日、放送局、放送開始時刻と終了時刻、タイトル、番組のURL、番組説明、出演者、キーワード等の情報（以下、個々に区別する必要がない場合、これらの情報をまとめて番組紹介情報と称する）を入力することができる。

【0027】

図3は、サーバ2によって提示される番組紹介画面の一例を示している。この例では、入力画面に入力された番組紹介情報の一部である、タイトル、放送日、放送曜日、放送開始時刻と終了時刻、放送局、および出演者、並びに別途サーバ2に寄せられた番組の感想が表示される。

【0028】

なおサーバ2で利用される記述ツールでは、番組紹介情報（図2）を入力画面に入力した後、ボタンB1を操作すれば、入力された情報がメタデータとしてサーバ2に記憶されるので、例えばこの番組が毎週放送される場合において、次週放送分の番組の番組紹介情

10

20

30

40

50

報を入力するとき、メタデータとして記憶された先週放送分の情報を利用することができる。すなわち番組紹介情報の再利用が可能となる。

【0029】

図1に戻りサーバ2は、要求に応じて、所定の番組の番組紹介情報、そのサーバ2に寄せられた番組の感想やその数、および番組紹介情報の再利用の回数を、ネットワーク6を介して端末5に供給する。

【0030】

サーバ3は、所定の番組(例えば、番組P1)のオフィシャルサイトとしてのホームページをネットワーク6上に開設している。このホームページには、番組P1についての詳細な情報が提示されている。サーバ3は、このオフィシャルサイトを介して受け付けた番組のコメントの数を、要求に応じて、端末5に供給する。

10

【0031】

CE機器4は、例えば、端末5のユーザが使用しており、そのユーザが指定した番組を再生したり録画するとともに、その視聴および録画した履歴(以下、利用履歴と称する)を記憶し、要求に応じて、ネットワーク6を介して端末5に供給する。

【0032】

端末5は、サーバ1乃至CE機器4と、ネットワーク6を介して通信し、それらから「放送番組の視聴率」、「番組紹介情報」、「サーバ2に寄せられた番組の感想」や「その数」、「番組紹介情報が再利用された回数」、「オフィシャルサイトに寄せられたコメントの数」、および「利用履歴」(以下、個々に区別する必要がない場合、単に、番組情報と称する)を取得するとともに、取得したそれらの情報を数値化して番組を評価し、その評価結果を、まとめて図式化して表示する。

20

【0033】

図4は、端末5の構成例を示している。CPU(Central Processing Unit)11にはバス15を介して入出力インタフェース16が接続されており、CPU11は、入出力インタフェース16を介して、ユーザから、キーボード、マウスなどよりなる入力部18から指令が入力されると、例えば、ROM(Read Only Memory)12、ハードディスク14、またはドライブ20に装着される磁気ディスク31、光ディスク32、光磁気ディスク33、若しくは半導体メモリ34などの記録媒体に格納されているプログラムを、RAM(Random Access Memory)13にロードして実行する。さらに、CPU11は、その処理結果を、例えば、入出力インタフェース16を介して、LCD(Liquid Crystal Display)などよりなる表示部17に必要なに応じて出力する。なお、プログラムは、ハードディスク14やROM12に予め記憶しておき、端末5と一体的にユーザに提供したり、磁気ディスク31、光ディスク32、光磁気ディスク33、半導体メモリ34等のパッケージメディアとして提供したり、衛星、ネットワーク等から通信部19を介してハードディスク14に提供することができる。

30

【0034】

図5は、端末5の機能的構成例を示すブロック図である。

【0035】

取得部51(例えばCPU11乃至RAM13、通信部19により構成されている)は、ネットワーク6を介してサーバ1乃至CE機器4と通信し、サーバ1から、所定の番組(この例の場合、番組P1とする)の「視聴率」を、サーバ2から、番組P1の「番組紹介情報」とサーバ2に寄せられた番組P1の「感想」および「その数」、並びに「番組紹介情報の再利用の回数」を、サーバ3から、番組P1のオフィシャルサイトを介して受け付けた「コメントの数」を、そしてCE機器4から、「利用履歴」を、それぞれ取得する。すなわち取得部51は、番組情報を取得する。取得された番組情報は、解析部52に供給される。

40

【0036】

解析部52(例えばCPU11乃至ハードディスク14により構成されている)は、取得部51から供給された番組情報を数値化し、その結果得られた解析値Aを、評価部53

50

に供給する。ここで解析部 5 2 の詳細を説明する。

【 0 0 3 7 】

解析部 6 1 - 1 は、取得部 5 1 から供給された番組 P 1 の番組紹介情報（サーバ 2 ）の中の「番組説明」や番組の「感想」（文字情報）から、所定の語句を抽出し、抽出した語句について数値解析を行う。

【 0 0 3 8 】

具体的には、解析部 6 1 - 1 は、単語や語句が意味によって分類され、その分類毎に所定の数値が設定されているシソーラスデータベース（DB）7 1 を有しているため、そのシソーラス DB 7 1 から、抽出した語句に対応する数値を検出し、それを解析値 A 1 とする。

10

【 0 0 3 9 】

解析部 6 1 - 2 は、取得部 5 1 から供給された番組 P 1 の番組紹介情報（サーバ 2 ）の中の「キーワード」について数値解析を行う。

【 0 0 4 0 】

具体的には、解析部 6 1 - 2 は、キーワードとなり得る語句が意味によって分類されているとともに、その分類毎に所定の数値が設定されているシソーラス DB 7 2 を有しているため、そのシソーラス DB 7 2 から、得られた「キーワード」に対応する数値を検出し、それを解析値 A 2 とする。

【 0 0 4 1 】

解析部 6 1 - 3 は、取得部 5 1 から供給された番組 P 1 の番組紹介情報（サーバ 2 ）の中の「放送開始時刻」と「終了時刻」について数値解析を行う。

20

【 0 0 4 2 】

具体的には、解析部 6 1 - 3 は、所定の時刻（放送開始時刻や終了時刻）、または所定の時間（放送時間）毎に所定の数値が設定されたテーブルを有しているため、そのテーブルから、取得部 5 1 から供給された「放送開始時刻」および「終了時刻」、並びに「放送時間」に応じた数値を検出し、それを、解析値 A 3 とする。

【 0 0 4 3 】

解析部 6 1 - 4 は、取得部 5 1 から供給された、番組 P 1 の番組紹介サイトに寄せられた「感想の数」（サーバ 2 ）や、番組 P 1 のオフィシャルサイトに寄せられた「コメントの数」（サーバ 3 ）を集計し、その集計結果に応じた値を、解析値 A 4 とする。

30

【 0 0 4 4 】

解析部 6 1 - 5 は、取得部 5 1 から供給された番組 P 1 の「番組紹介情報が再利用された回数」（サーバ 2 ）に応じた値を解析値 A 5 とする。

【 0 0 4 5 】

解析部 6 1 - 6 は、取得部 5 1 から供給された番組 P 1 の「視聴率」（サーバ 1 ）や番組 P 1 の「利用履歴」（CE機器 4 ）に応じた値を、解析値 A 6 とする。

【 0 0 4 6 】

解析部 6 1 - 7 は、取得部 5 1 から供給された番組 P 1 の番組紹介情報（サーバ 2 ）の中の「出演者」を数値化する。

【 0 0 4 7 】

40

具体的には、解析部 6 1 - 7 は、タレント名毎に、そのタレントの著名度に応じた値が設定された著名人データベース 7 3 を有しているため、そのデータベース 7 3 から、出演者に対応する数値を検出し、それを解析値 A 7 とする。

【 0 0 4 8 】

解析部 6 1 - 1 乃至 6 1 - 7 は、数値解析の結果得られた解析値 A 1 乃至 A 7 を、評価部 5 3 に供給する。なお図 6 に、解析部 6 1 がどのような情報を解析して数値化を行っているかを、まとめて示している。

【 0 0 4 9 】

図 5 に戻り評価部 5 3（例えば CPU 1 1 乃至 RAM 1 3 より構成されている）は、解析部 5 2 から供給された解析値 A 1 乃至 A 7 に基づいて、番組（番組 P 1）を所定の評価

50

項目について評価する。

【0050】

この例の場合、「話題度」、「視聴容易度」、「有効度」、「マニアック度」、「大人向け度」、および「キャストイングの著名度」の6個の評価項目が設けられ、その評価値は、1乃至5の5段階で示され、値が大きければ大きいほど、評価が高いことを意味する。

【0051】

「話題度」は、図6にまとめて示してあるように、解析部61-1、61-2、61-4、61-5、および61-6からの解析値A1、A2、A4、A5、およびA6に基づいて定められるものであり、その番組が話題になっている度合いを表す。

10

【0052】

「視聴容易度」は、解析部61-3からの解析値A3に基づいて定められるものであり、その番組の放送時刻等からみて、視聴し易い番組である度合いを表す。

【0053】

例えば、午後7時から7時半までの30分間放送される番組は、午後11時から午前2時までの3時間放送される番組に比べ、視聴が容易な番組とされる。

【0054】

「有効度」は、解析部61-1および61-2からの解析値A1およびA2に基づいて定められるものであり、その番組が、例えば教育上有効な番組である度合いを示す。

【0055】

「マニアック度」は、解析部61-1からの解析値A1に基づいて定められるものであり、その番組の内容が、特定の趣味に特化している度合いを表す。

20

【0056】

「大人向け度」は、解析部61-1および61-3からの解析値A1およびA3に基づいて定められるものであり、その番組が、大人向けの番組である度合いを表す。

【0057】

「キャストイングの著名度」は、解析部61-7からの解析値A7に基づいて定められるものであり、出演者の著名度を表す。

【0058】

評価部53は、評価の結果得られた各評価項目の評価値を、視覚化部54に供給する。

30

【0059】

視覚化部54は、評価部53から供給された上述した6項目の評価値を、例えば図7または図8に示すように図式化し、表示部17に出力し、表示させる。

【0060】

以上のように、番組情報を数値化し、その結果得られた数値に基づいて、所定の項目についての番組評価を行うとともに、その評価結果を図式化してユーザに提示するようにしたので、ユーザは、複数の評価結果を総合的に利用して番組選択を行うことができる。なおここでなされる番組の評価は、一般的な基準に基づくものである（システムがユーザの嗜好を独自に判断して評価しているものでない）、ユーザは、この評価結果を客観的に利用して、自己の所望する番組を選択することができる。

40

【0061】

次に、図9に示すような番組P1の番組情報が取得部51により取得された場合を例として、解析部52乃至視覚化部54の動作を説明する。

【0062】

解析部52の解析部61-1は、取得部51から供給された番組P1の番組紹介情報の「番組説明」と「番組の感想」を、語句単位に分解し、「戦国時代」、「先生」、および「忍者」の語句を得る。

【0063】

解析部61-1は、シソーラスDB71で定義されている、「戦国時代」、「先生」、および「忍者」の数値から、解析値A1を得る。

50

## 【 0 0 6 4 】

なお解析部 6 1 - 1 による解析値 A 1 は、図 6 に示したように（図 6 を横に見ると）、「話題度」、「有効度」、「マニアック度」、および「大人向け度」の評価項目での評価に利用されるので、シソーラス D B 7 1 では、それらの評価項目毎に、語句の数値が設定されている。

## 【 0 0 6 5 】

その結果、この例の場合、「戦国時代」、「先生」、および「忍者」についての解析値 A 1 は、「話題度」の評価項目では、0 ポイント、「有効度」の評価項目については、20 ポイント、「マニアック度」の評価項目では、40 ポイント、そして「大人向け度」の評価項目では、5 ポイントとなる。

10

## 【 0 0 6 6 】

解析部 6 1 - 2 は、取得部 5 1 から供給された P 1 の番組紹介情報の中のキーワードである「アニメ」および「子供向け」を得る。そして解析部 6 1 - 2 は、シソーラス D B 7 2 で定義されている、「アニメ」および「子供向け」の数値から、解析値 A 2 を得る。

## 【 0 0 6 7 】

なお解析部 6 1 - 2 による解析値 A 2 は、図 6 に示したように、「話題度」および「有効度」の評価項目での評価に利用されるので、シソーラス D B 7 2 では、それらの評価項目毎に、キーワードの数値が設定されている。

## 【 0 0 6 8 】

その結果この例の場合、「アニメ」および「子供向け」についての解析値 A 2 は、「話題度」の評価項目では、0 ポイント、そして「有効度」の評価項目では、10 ポイントが、解析値 A 2 となる。

20

## 【 0 0 6 9 】

解析部 6 1 - 3 は、取得部 5 1 から供給された番組 P 1 の番組紹介情報の中の放送開始時刻である「18時」と終了時刻である「18時30分」に応じた値を、解析値 A 3 とする。

## 【 0 0 7 0 】

なお解析部 6 1 - 3 による解析値 A 3 は、「視聴容易度」および「大人向け度」の評価項目での評価に利用されるので、解析部 6 1 - 3 は、それらの評価項目毎に、評価値を定義している。

30

## 【 0 0 7 1 】

例えば「視聴容易度」については、図 10 に示すような、放送開始時刻に応じたポイントを示すテーブル、または図 11 に示すような放送時間に応じたポイントを示すテーブルを利用して、解析値 A 3 を決定することができる。

## 【 0 0 7 2 】

また「大人向け度」については、図 12 に示すような、放送開始時刻に応じたポイントを示すテーブルを利用して、解析値 A 3 を決定することができる。

## 【 0 0 7 3 】

その結果この例の場合、放送開始時刻（18時）および放送終了時刻（18時30分）についての解析値 A 3 は、「視聴容易度」の評価項目では、30 ポイント（図 10、図 11）、そして「大人向け度」の評価項目では、10 ポイント（図 12）となる。

40

## 【 0 0 7 4 】

なおここでは、番組紹介情報の中の「放送開始時刻」と「終了時刻」から解析値 A 3 を求めるようにしたが、「番組説明」等から、「ゴールデンタイム」や「長時間」等の放送時間に関する文言を抽出して、その文言から解析値 A 3 を求めるようにすることもできる。具体的には、放送時間に関する文言についてのシソーラスデータベースを設け、それから抽出した放送時間に関する文言に対応する数値を検出して解析値 A 3 とする。

## 【 0 0 7 5 】

解析部 6 1 - 4 は、取得部 5 1 から供給された、番組 P 1 の感想の数である「3個」とコメントの数である「1個」を合計し、その結果得られた数（4個）に応じた値の 20 ポ

50

イントを、解析値 A 4 とする。

【 0 0 7 6 】

解析部 6 1 - 5 は、取得部 5 1 から供給された、番組 P 1 の番組紹介情報の再利用の回数である「 0 回」に応じた 0 ポイントを、解析値 A 5 とする。

【 0 0 7 7 】

解析部 6 1 - 6 は、取得部 5 1 から供給された番組 P 1 の視聴率である「 1 0 % 」と利用履歴である「利用無し」に応じた値の 1 0 ポイントを、解析値 A 6 とする。

【 0 0 7 8 】

解析部 6 1 - 7 は、番組 P 1 の出演者である「乱たま乱太郎」に対応する 1 0 ポイントを、解析部 A 7 とする。

10

【 0 0 7 9 】

以上のように解析部 6 1 - 1 乃至 6 1 - 7 で得られた解析値 A は、評価部 5 3 に供給される。

【 0 0 8 0 】

評価部 5 3 は、解析部 6 1 - 1 乃至 6 1 - 7 のそれぞれ供給された解析値 A 1 乃至 A 7 に基づいて、番組 P 1 を、6 個の評価項目について評価する。この例の場合、例えば、「話題度」は、2 段階目、「視聴容易度」は、4 段階目、「有効度」は、3 段階目、「マニアック度」は、2 段階目、「大人向け度」は、1 段階目、そして「キャストイング度」は、1 段階目とされる。

【 0 0 8 1 】

評価部 5 3 での評価結果は、視覚化部 5 4 に供給される。

20

【 0 0 8 2 】

視覚化部 5 4 は、評価部 5 3 から得られた評価結果を、図 7 および図 8 に示したように図式化し、表示部 1 7 を介して表示する。

【 0 0 8 3 】

なお以上においては、視覚化部 5 4 は、1 つの番組の各評価結果をまとめて図式化し、提示するようにしたが、複数の番組の評価結果を記憶しておき、所定の評価項目について、複数の番組の評価結果を表示することもできる。

【 0 0 8 4 】

図 1 3 および図 1 4 の例では、番組 P 1 乃至 P 4 の、「話題度」と「大人向け度」の評価結果を、図式化したものである。

30

【 0 0 8 5 】

このように複数の番組についての評価結果をまとめて図式化すれば、ユーザは、その項目について番組比較を容易に行うことができるので、番組選択をより効率的に行うことができる。

【 0 0 8 6 】

なお番組の評価は、上述したような解析値 A の組み合わせに限られるものではなく、他の組み合わせに基づいて新たな評価を行うことができる。例えば、解析値 A 2 と解析値 A 4 の組み合わせに基づいて評価することもできる。

【 0 0 8 7 】

また以上においては、1 回放送分の番組についての評価結果が示されたが、例えばシリーズものの番組について、所定の評価項目の評価結果を時系列的に表示することもできる。

40

【 0 0 8 8 】

例えば、解析値 A 2 と解析値 A 4 の組み合わせに基づいて、毎週放送される番組（料理番組）を評価する場合において、図 1 5 に示すような、解析値 A 2 と A 4 が得られ、その評価結果が、図 1 5 に示すように得られた場合、図 1 6 に示すようなチャートを、ユーザに提示することができる。

【 0 0 8 9 】

なお、本明細書において、記録媒体により提供されるプログラムを記述するステップは

50

、記載された順序に沿って時系列的に行われる処理はもちろん、必ずしも時系列的に処理されなくとも、並列的あるいは個別に実行される処理をも含むものである。

【図面の簡単な説明】

【0090】

【図1】本発明を適用した端末の利用例を示す図である。

【図2】番組紹介情報を入力する際に利用される入力画面の例を示す図である。

【図3】番組紹介画面の例を示す図である。

【図4】図1の端末の構成例を示すブロック図である。

【図5】図1の端末の機能的構成例を示すブロック図である。

【図6】図5の解析部が解析する情報および評価部が利用する解析値との関係を示す図である。

【図7】評価結果を表す図である。

【図8】評価結果を表す他の図である。

【図9】取得した番組情報の例を示す図である。

【図10】放送時間に関する情報を数値化するためのテーブルを示す図である。

【図11】放送時間に関する情報を数値化するための他のテーブルを示す図である。

【図12】放送時間に関する情報を数値化するための他のテーブルを示す図である。

【図13】評価結果を表す他の図である。

【図14】評価結果を表す他の図である。

【図15】取得した番組情報の他の例を示す図である。

【図16】評価結果を表す他の図である。

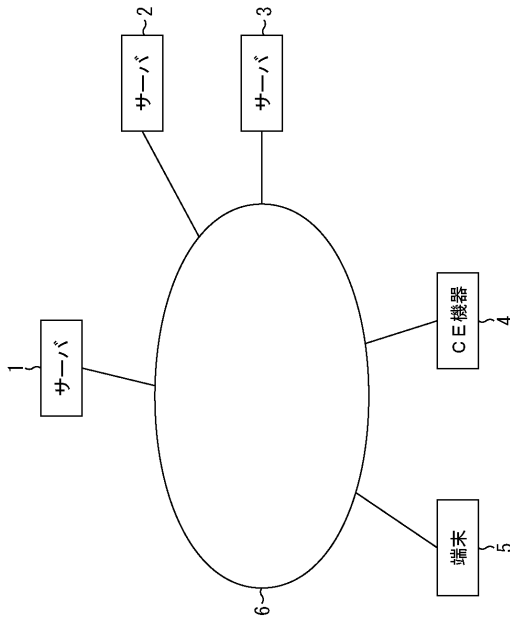
【符号の説明】

【0091】

1 サーバ, 2 サーバ, 3 サーバ, 4 CE機器, 5 端末, 17 表示部, 51 取得部, 52 解析部, 53 評価部, 54 視覚化部

【図1】

図1



【図2】

図2

**新しく番組を投稿**

番組が放送された日付、もしくは放送される日付を入力してください。(未入力にすると今日の日付が入ります。)

年  月  日

毎週?曜日放送や、月~金曜放送の場合は以下のコンボボックスから選択してください。(単発の場合は、その他にしてください。)

以下のコンボボックスからチャンネルを選択してください。

チャンネル

番組の開始時刻と終了時刻を選択してください。深夜放送は、曜日を変えずに入力してください。(ex. 月曜夜1:50~の場合、上の曜日選択で毎週月曜、下の時間で01:50を選択)

開始  :  ~  :

終了  :  ~  :

番組のタイトルと番組のURLがあれば入力してください。

番組タイトル

番組URL

番組の説明を入力してください。この文章がテレビログの番組説明になります。

出演者、監督、作家などの人物名を" "で区切って入力してください。(姓と名の間にはスペースを入れてください。)

番組に関するキーワードを入力してください。(単語の間は" "で区切ってください。)

【図3】

図3

**JANUARY 13, 2004**

うたべん

~~~~うたべん~~~~

・放送日: 毎週木曜20:00 ~ 20:54 (TAS 6ch)

出演者: 宇木田 ひかり、SNAB (利用ボタン)

Posted by ABC at January 13, 2004 10:59 AM | [トラックバック](#)

感想

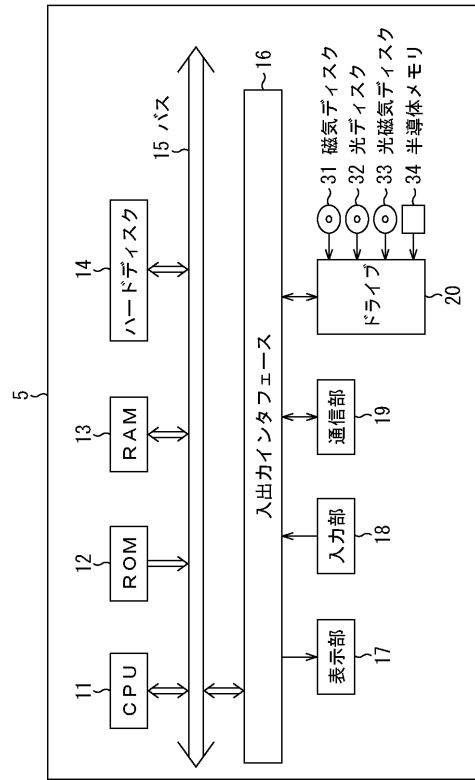
×××××

感想

×××××

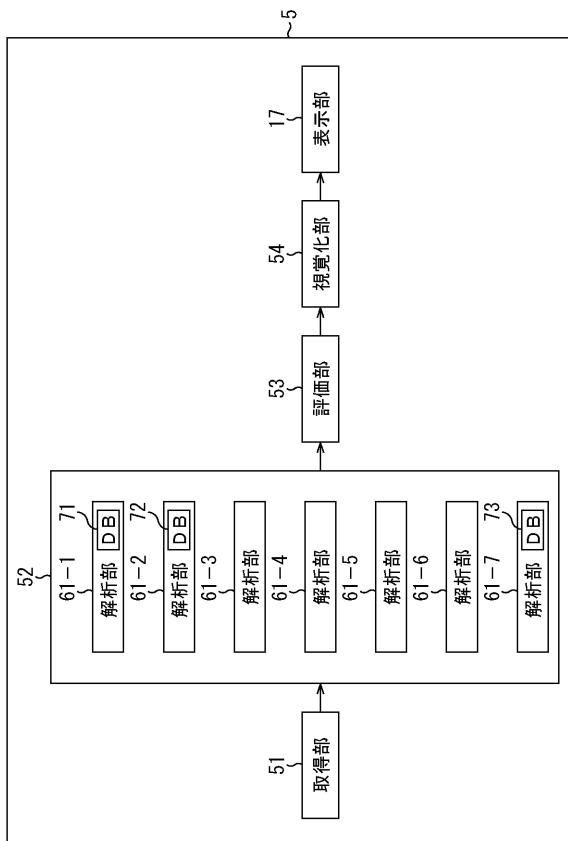
【図4】

図4



【図5】

図5



【図6】

図6

| 話題度 | 視聴容易度 | 有効度 | マニアック度 | 大人向け度 | 著名度 |
|-----|-------|-----|--------|-------|-----|
| ○   | ○     | ○   | ○      | ○     |     |
| ○   |       | ○   |        |       |     |
|     | ○     |     |        | ○     |     |
| ○   |       |     |        |       |     |
| ○   |       |     |        |       |     |
| ○   |       |     |        |       |     |
|     |       |     |        |       | ○   |

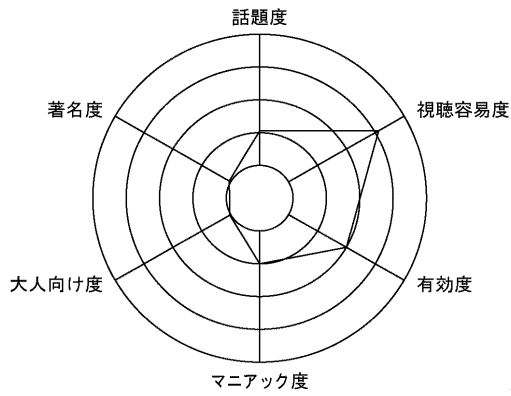
  

| 番組説明、番組の感想 (サーバ2) | キーワード (サーバ2)    | 番組の放送開始時刻、放送終了時刻 (サーバ2) | 感想の数 (サーバ2)、コメントの数 (サーバ3) | 番組紹介情報の再利用回数 (サーバ2) | 視聴率 (サーバ1)、利用履歴 (CE機器4) | 出演者 (サーバ2)      |
|-------------------|-----------------|-------------------------|---------------------------|---------------------|-------------------------|-----------------|
| 解析部61-1 (解析値A1)   | 解析部61-2 (解析値A2) | 解析部61-3 (解析値A3)         | 解析部61-4 (解析値A4)           | 解析部61-5 (解析値A5)     | 解析部61-6 (解析値A6)         | 解析部61-7 (解析値A7) |

評価部 53

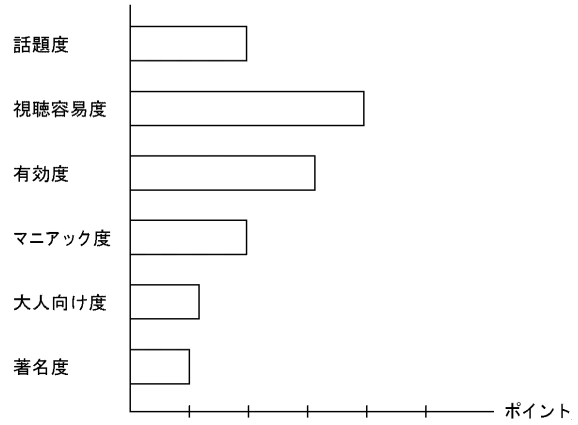
【図7】

図7



【図8】

図8



【図9】

図9

|                                                                                          |                                                                                                 |
|------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 番組説明、番組の感想<br>キーワード<br>放送開始時刻、放送終了時刻<br>感想の数、コメントの数<br>番組紹介情報の利用回数<br>視聴率<br>利用履歴<br>出演者 | 例<br>……戦国時代…先生…忍者…<br>アニメ、子供向け<br>18:00~18:30<br>感想の数:3個、コメントの数:1個<br>0回<br>10%<br>なし<br>乱たま乱太郎 |
|------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|

【図10】

図10

| 放送開始時刻 | ポイント |
|--------|------|
| 0:00   | ××   |
| 1:00   | ××   |
| ∫      |      |
| 18:00  | 30   |

【図11】

図11

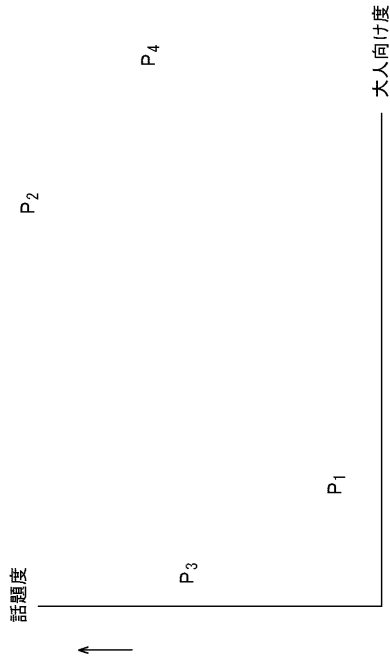
| 放送時刻  | ポイント |
|-------|------|
| 30分以下 | 30   |
| 1時間   | ××   |
| 3時間   | ××   |
| 3時間以上 | ××   |

【図12】

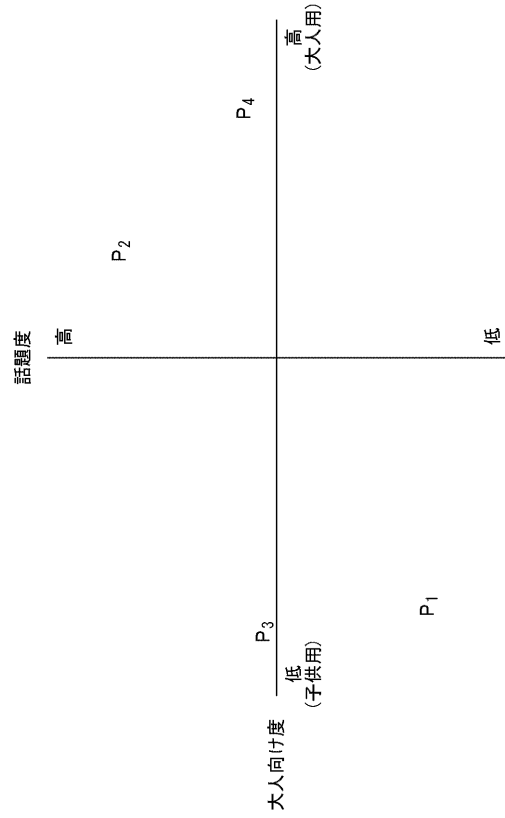
図12

| 放送開始時刻 | ポイント |
|--------|------|
| 0:00   | 30   |
| 1:00   | ××   |
| ∫      |      |
| 18:00  | 10   |
| ∫      |      |

【 1 3 】  
図13



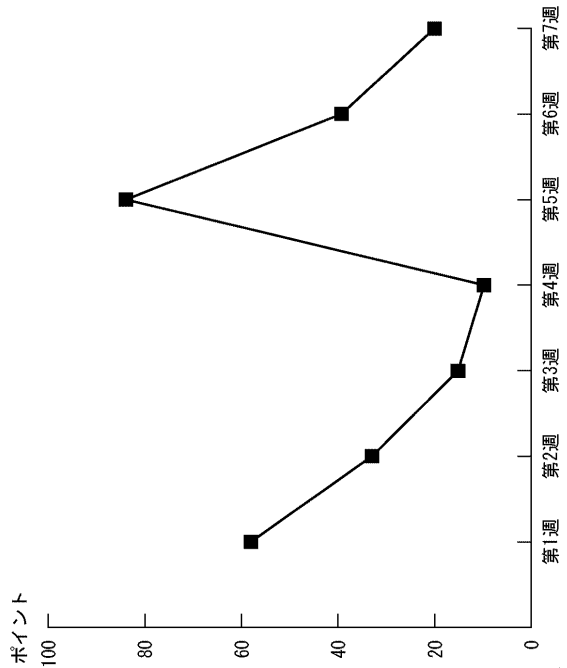
【 1 4 】  
図14



【 1 5 】  
図15

|     | 解析値A2(キーワードに基づく値)     | 解析値A4(コメントと感想の数に基づく値) | 評価結果 |
|-----|-----------------------|-----------------------|------|
| 第1週 | 40(韓国料理、コチュジャン、チヂミ)   | 6                     | 58   |
| 第2週 | 30(天丼、エビ、穴子)          | 1                     | 33   |
| 第3週 | 15(ハンバーグ、デミグラスソース)    | 0                     | 15   |
| 第4週 | 10(コロッケ、メンチカツ)        | 0                     | 10   |
| 第5週 | 30(吉田屋、牛肉、家庭)         | 18                    | 84   |
| 第6週 | 30(冷やし中華、中華麺、焼き豚)     | 3                     | 39   |
| 第7週 | 20(ピザ、パシリコ、モッツアレラチーズ) | 0                     | 20   |

【 1 6 】  
図16



---

フロントページの続き

- (72)発明者 南 拙至  
東京都品川区北品川6丁目7番35号 ソニー株式会社内
- (72)発明者 金子 順  
東京都品川区北品川6丁目7番35号 ソニー株式会社内

審査官 後藤 嘉宏

- (56)参考文献 特開2004-128795(JP,A)  
特開2004-157617(JP,A)  
特開2000-059745(JP,A)  
特開2003-209523(JP,A)  
特開2003-264752(JP,A)  
特開2004-173252(JP,A)  
特開2004-194107(JP,A)  
特開2004-206679(JP,A)

(58)調査した分野(Int.Cl., DB名)

H04N 5/44 - 5/46  
H04N 7/173  
G06F 17/30